

科目分類	専門基礎分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	病態症候論演習	学 期	後 期	吉田真奈美（看護師）
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目的 (ねらい)	解剖生理学・病態生理学・臨床病態論などに関する基礎知識に基づき、疾患枠を超えた複合的な症状・徴候の病態生理を理解し、実践的な看護に結びつけることができる。			
目標	1. 事例を読み解き、事例に生じている症状・徴候の病態生理を理解する。 2. 観察や判断の根拠として病態生理の知識を活用する必要性を理解する。 3. 看護のコンセプトを用いて事例を整理し、看護の必要性や方法を導き出す。			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	オリエンテーション	1) 病態症候論演習で何を学ぶか 2) 学習の進め方 3) 実際にやってみる 事例「発熱と腹痛」	講義 /演習
	2	事例から考える病態生理と看護 Case 1	小テスト・解説「呼吸器の解剖生理とCOPD・肺炎の病態生理」 Case「発熱にともなって呼吸困難が増強・喀痰」のある事例	講義 /演習
	3			
	4	事例から考える病態生理と看護 Case 2	小テスト・解説「腎の解剖生理と腎不全・心不全の病態生理」 Case「尿量低下や浮腫にともなう呼吸困難・倦怠感」のある事例	講義 /演習
	5			
	6	事例から考える病態生理と看護 Case 3	小テスト・解説「骨の解剖生理と大腿骨頸部骨折・深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症の病態生理」 Case「突然の呼吸困難・胸痛」のある事例	講義 /演習
	7			
	8	事例から考える病態生理と看護 Case 4	小テスト・解説「気管の解剖生理と気管支喘息の病態生理」 Case「発作的な呼吸困難」のある事例	講義 /演習
	9			
10	事例から考える病態生理と看護 Case 5	小テスト・解説「血液の解剖生理と貧血の病態生理」 Case「出血や体動時の呼吸困難」のある事例	講義 /演習	
教科書	1. ナーシンググラフィカ 疾患の成り立ちと回復の促進①病態生理（メディカ出版） 2. 系統看護学講座 成人看護学…Caseに応じた器官系統のテキスト（医学書院）			
参考文献	1. 系統看護学講座 人体の構造と機能（医学書院） ※授業の都度、使用テキストについては連絡します。			
評価方法	製作物(学習ノート) 50% 小テスト 50% ※注：積極的な出席と学習態度についても加味します。			
関連科目	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 生化学	病態生理学 基礎薬理学	臨床病態論 微生物学	臨床検査

自己学習に関する指針	<p>シラバスの「単元項目」「内容」を確認し、その授業を受けるにあたり必要な解剖生理学や臨床病態論に関する既習内容を復習してください。また、復習した内容はその都度、ノートに整理しておいてください。</p> <p>毎回、予習に関するタスクを課しますので、それについても同様にノートに整理してください。</p> <p>作成したノートはポートフォリオとして成績評価の対象とします。</p> <p>なお、授業に関する連絡は GoogleClassroom で行うので、クラスコードの連絡を受けた時には速やかに入室してください。</p>
その他の通知事項	随時質問に応じます。